公益財団法人岡山県郷土文化財団

平成25年度（第３６期）事業計画

平成24年３月１日付けで「公益財団法人岡山県郷土文化財団」として発足し、３期目となる25年度においても、自らの設立基本理念を念頭に据え、定款に掲げた事業をとおして、「うるおい」と「やすらぎ」のある郷土づくりに寄与してまいります。事業の実施にあたっては、低金利が続く中、財団の自主財源の増加が見込めず、また、厳しい財政状況により岡山県からの委託料、交付金も増額が見込めないことから、より一層効率的で的確な運営に努めます。また、公益財団法人への移行に伴い寄附税制上の優遇措置が図られていることから、寄附者の拡大にも努めます。

基本理念

岡山県下に所在する優れた自然や文化的遺産の保護・保存及び管理とその利用の促進を図るとともに、岡山県ゆかりの先賢の顕彰並びに伝統に根ざした地域文化の創造を行うことにより「うるおい」と「やすらぎ」のある郷土づくりに寄与する。

定款に定める事業（第４条関係）

１　優れた文化的遺産、自然景勝地、保護すべき動植物の生息地等（以下「文化財等」という。）の取得及び保護活用並びに先賢の顕彰に関する事業

２　文化財等や先賢の事績等に関する資料の収集、保存及び公

開並びに講演会等の開催その他知識の普及啓発に関する事業

３　伝統に根ざした地域文化の創造及び振興に関する事業

４　第１号から第３号までに規定する事業に関連するボランティアの育成及び支援

５　第１号から第３号までに規定する事業に関連する受託事業

６　その他この法人の目的を達成するために必要な事業

事業内容　（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

公１　文化財等保護活用事業　　（第４条第１号、第４号関係）

（１）　岡山の自然や伝統的工芸、芸能などの文化的遺産等の保護、活用に関する事業

①　公益社団法人日本ナショナル・トラスト協会との連携

②　備中漆復興支援（新見市、真庭市）

・備中うるし利活用協議会による事業を支援する（土地使用貸借契約が期限切れとなること及び現在の支援が２年目となることから、支援のあり方、方法の見直しを行う。）。

・「漆芸家難波仁斎 生誕110年記念回顧展」での募金
岡山県立美術館　６月７日（金）～７月15日（月）

・「Japan－漆の世界」の共催
岡山県立博物館　10月11日（金）～11月17日（日）

③　文化財庭園「後楽園」の保護・活用を進めるための由緒ある能舞台での「岡山後楽園で能をたのしむ会」や「お田植え祭り、観蓮節、月見」など伝統行事の伝承、維持

・「岡山後楽園で能をたのしむ会」の開催

岡山後楽園能舞台　10月５日（土）

・茶つみ祭５月19日（日）　、お田植え祭６月９日（日）、観蓮節７月７日（日）、名月観賞会９月19日（日）

④　後楽園を国内外の方々によりよく知ってもらうための「後楽塾（後楽園専任ボランティア育成）」

・第９期生　一般コース及び外国語（英語、中国語、韓国語）コース計２０名

募集　９月～（10月末締切）

入塾　11月下旬、講座修了　３月初旬

・第７期生（8月卒塾）、第８期生（ボランティア活動）の支援

（２）　岡山県ゆかりの先賢の顕彰に関する事業

①　平成元年に設置した「内田百閒記念碑園（岡山市中区）」の維持管理、及び関連施設として岡山県職員会館三光荘内に設置した「内田百閒コーナー」での所蔵資料の展示・公開。なお、三光荘が平成25年度末で閉館されることから、岡山県の新たな活用方法の検討状況を注視する。

②　内田百閒生誕125年記念事業

来年が内田百閒（1889年（明治22年）５月29日～1971年（昭和46年）４月20日）の生誕125年となることから関連資料の展示等を行う展示スペースの設置等について検討を行う。

③　生田安宅（岡山の医学教育先駆者）など遺族から寄贈された遺品の整理

・資料の確認、整理等

④　岡山県をはじめ、他団体の顕彰事業への協力

公２　普及啓発事業　　（第４条第２号関係）

（１）　資料の収集、保存・公開

①　岡山後楽園、内田百閒、犬養木堂、岡崎嘉平太等を中心に本県に所在する文化財等やゆかりの先賢の資料の充実

②　これまで収集した植物関係図書・文献（難波文庫）の岡山県立図書館への寄託及び植物標本の岡山県自然保護センターへの寄託、郷原漆器（真庭市）資料の岡山県立博物館への寄託、郷土画家の秀作の岡山県立美術館への寄託などその保存・活用

（２）　講演会・研修会等の開催

①　専門家を招聘して「郷土文化講座」を開催し、その成果を「岡山の自然と文化」等として取りまとめ、県内の図書館、公民館等の公共施設、大学等の教育機関に配布

・講座数　４講座程度

・開講時期　平成26年１月～３月　４回程度

・場所　岡山県立図書館

②　今年が美作建国1300年にあたることを踏まえ、特に美作地域を重点に岡山の自然や文化、先賢ゆかりの地での研修会を開催し、現地見学や体験をするとともに、専門家の話を聞き知見を深める。

「現地研修会」を開催

・津山の城下町を歩くコース　４月26日（金）

・ベンガラのルーツをたどるコース（高梁市成羽町）６月

・「美作の陶棺展」（津山郷土博物館）と古代吉備（美作地

域）を訪ねるコース　10月

・「Ｊａｐａｎ-漆の世界-（岡山県立博物館）」と備中うるしをたどるコース（真庭市蒜山）　11月

・薬師寺主計の業績をたどるコース（倉敷市）　３月

「美術鑑賞会等」を開催

・「美作の美術」、「難波仁斎展」（岡山県立美術館）　６月

・「美作の名宝」　（岡山県立博物館）　８月

・「成羽の化石と恐竜展」（高梁市成羽美術館）　８月

③　第三回岡山文化フォーラムの共催

美作建国1300年を記念して開催している文化フォーラム「見えてきた古代吉備の実像」を備前地域（岡山市）、備中地域（総社市）に続き、美作地域で岡山県等ともに開催する。

・津山文化センター（津山市山下）　11月９日(土)

（３）　広報誌等印刷物の作成

①　専門家による寄稿や県内文化施設の催事案内等を掲載した広報誌「きび野」を年４回（各4,000部）発行する。

②　会員向けに時々のトピックスを財団ニュース「お知らせ」として年10回程度（各2,800部）送付する。

③　一般向けにホームページで財団の活動紹介や県内文化施設の催事案内等を随時行う。

公３　地域文化振興事業　（第４条第３号関係）

（１）　地域文化の創造、育成に関する事業

①　郷土文化財団クラシックコンサート

・倉敷管弦楽団による演奏会

勝央町　12月21日(土)

②　郷原漆器（岡山県指定重要無形民俗文化財（民俗技術））について、引き続き郷原漆器生産振興会（真庭市）の生産体制の強化と販売促進、後継者の育成に協力する。

③　会員作品展

・天神山プラザ　第２展示室　５月21日（火）～26日（日）

④　県内各地で開催される各種文化活動を共催し、開催費の一部及び広報を支援するとともに、地域文化活動を奨励するため後援を行い広報を支援するなど地域文化の育成を図る。また、広報誌「きび野」に県内各地の文化施設の催事、行事を定期的に掲載し広く一般に配布し、文化施設の活用を支援する。

（２）　苗木交付事業

サクラ（国花)、モモ（県花)、ウメなど古来から親しまれてきた花木の苗木を市町村を通じて希望する地元コミュニティに配布し、植栽、管理を協働で行うことにより地域の景観形成と地域の活性化、花見、果実の活用等の木の文化育成を図る。

・交付基準　１市町村１年度当たり１００本以内、公共的な場所１カ所当たり５０本以上

公４　受託事業　（第４条第５号関係）

（１）　文化財庭園「後楽園（岡山市北区)」の管理運営受託

（２）　岡山の先賢を顕彰する「犬養木堂記念館（岡山市北区）

及び生家」の指定管理、同じく「岡崎嘉平太記念館（加賀郡吉備中央町）」の指定管理

（３）　自然との触れ合いを通じて、県民の自然への理解を深め、自然保護への認識を高める「岡山県自然保護センター（和気郡和気町）」のタンチョウ飼養管理及び傷病鳥獣の保護、動植物の調査研究、自然保護思想の普及啓発等業務の受託

（４）　第十二回岡山県「内田百閒文学賞」の募集等

「内田百閒文学賞」の募集等に関する業務を県から受託し、今年度は作品募集等の企画・運営を行う。

平成25年度（第３６期）に係る資金調達及び設備投資の見込みについて

１　資金調達の見込みについて

当期中における借入れの予定はありません。

２　設備投資の見込みについて

当期中における重要な設備投資（除却又は売却を含む。）の予定はありません。